

みんなの声

このコーナーでは、皆さんからお寄せいただいた「町への手紙」の一部とその回答を掲載します。なお、スペースの関係で質問の内容は一部簡略化させていただきます。

問 各地で色々と合併問題が話題になっており、新聞や町議会だより、町広報にも記載されましたが、合併が先か、新庁舎が先かが問題ですね。

(梅原 男性)

答 国が各種の支援策を基に推進している「市町村合併」の問題は、全国各地で議論されているところです。その必要性については、主に国・地方の財政状況の著しい悪化・地方分権の推進などがその代表的な要因として上げられています。このように、自立的な地域社会の形成に向けた取り組みが現在進行しています。

市町村合併については、この地域における研究も当然必要となるわけですが、この変革の時代に予測が大変難しい状況であることは、間違いのない事実と思われると思います。町では、時を同じくして新庁舎建設についての検討が始まっています。その必要性については、2月下旬に役場庁舎整備検討委員会より、「役場庁舎は建て替えることに意見が一致しました」という答申をいただいているところです。

については、これらの問題について現時点で言えることは、合併問題については「合併ありき」ではなく研究が必要であり、庁舎の建設については、合併問題に関わらず検討する時期に来ているという結論となります。これからのまちづくりについて、今後財政見直しを含め慎重に検討していければと考えています。

(企画課)

問 斗合田にも子どもが遊べる公園を作ってください。

(斗合田 男性)

答 町では、ふるさとの広場をはじめ、工業団地開発事業の関係で造成された大輪公園・やじま公園などが建設されています。

「子どもが遊べる」とことについては、各地区において独自に公民館等さまざまな用地を利用して遊具を設置し、子どもたちの遊び場として利用し

ているのが現状と思われま。す。「公園新設」のご質問については、町では現在のところ計画はありません。

町では現在、第5次総合計画の策定に着手しています。将来のまちづくりの10か年計画です。ご質問については、プラン策定に伴う今後のまちづくりの提言(要望)として受け止め、検討していければと考えています。

(企画課)



パークゴルフ場が整備されているふるさとの広場

防災の日(9月1日)・防災週間(8月30日～9月5日)

あなたの備えは大丈夫?

もし、震度7もの大地震が発生したら…。自分や家族の命を守る事ができますか? 家や地域を守る事ができますか? 阪神・淡路大震災のような大地震は、他人事ではありません。環太平洋火山帯に位置する日本では、全国のいたるところに、大きな直下型地震の引き金となる活断層が分布しています。大きな地震に見舞われていないときほど、油断しないで気を引き締めることが大事です。改めて、災害に対する家の備え、地域の備えを見直してみましよう。

か、どこに避難するかなどについて決めておくことも大事です。

非常持ち出し品の例

- 食料・飲料水(3日分程度)
- 懐中電灯(予備の電池付き)
- 小型ラジオ(予備の電池付き)
- 貴重品類(預金通帳、印鑑、現金など)
- 応急救護医薬品
- マッチ、ライター、缶切り
- ローソク
- ナイフ
- 衣類・下着
- 毛布
- ロープ
- 運動靴

このほか、家族に病人や赤ちゃがいる場合は、薬やおむつ、ミルクなどの備えもお忘れなく。皆さんの家庭では、どんなものが必要か、ぜひ話し合ってみてください。

身近な「防災」の点検をしよう
大きな災害が発生し、避難を余儀なくされたときは、数日間自分たちの力で避難生活を過ごせるだけの備えが必要です。日ごろから3日分ほどの非常用食料や水をまとめておき、避難するときはすぐ持ち出せるようにしておくことが大切です。

また、家の中を点検し、地震で物が落ちたり家具が倒れたりしないか、階段や出入り口が物でふさがっていないか、確認しましょう。

家族で話し合って、災害が発生したとき、だれが何をするの

